

社会

【新学習指導要領を踏まえた思考力・判断力・表現力の考え方】

思考力

取り扱う題材を深く理解して処理できる力、課題を見出す力である。

例えば「条件が変わった、視点が変わったなどにより、結果がどう変わっていくか、その変化でどういう事象等が生ずるか、どういう関係性が生ずるか、どういう価値が生まれるかなど、直接文章や図表などで示されていない事象について考える問題」などがこれに当たる。また、社会的事象について上記を当てはめる問題が一例として相当する。

判断力

取り扱う課題や関係性に対してある尺度、基準、条件を当てはめ「分類・順位付け・優先順位づけ・規則性発見、統合」等の判断・発見、論理的推論を進められる力である。

例えば「関係性を道筋だてて思考させた上で新たな基準、条件、意見、多様な価値観を踏まえて最善となるものを見出す問題」などがこれに当たる。また、「グラフやデータからの読み取り、会話文からを読み取ったことを基に評価・判断・推論（想像）させる問題」なども一例である。

表現力

思考、判断により獲得した情報を正確に処理して絞り込み、抽象化、関連付けなどを行い、他者に伝達する意図を持って、文章や図表、グラフ等で可視化できる力である。

例えば「ある事象の変化、関係性、順位付けなどに対する状態を、最適な文、要旨、図表、グラフ等で表現しているものを選択させる問題」などがこれにあたる。

<社会の場合>

○思考力

3分野 共通	• 提示された図表（地図を含む）に直接記載されていないことを論理的に推理・推測する能力
地理	• 図表（地図を含む）で地理的な場所、分布、環境等の特色、つながり、相互関係等を読み取る能力
歴史	• 歴史に関わる事象（時期・年代、推移、比較、相互関係など）の背景、意義、影響、現代へのつながり等を考察する能力
公民	• 現代の社会的事象の仕組み、役割、事象相互の結びつき、課題等を様々な側面から捉えることができる能力

○判断力

3分野 共通	<ul style="list-style-type: none"> 多面的、多角的に考察したことを公正に評価する能力（様々な尺度や立場にたったとき、優先順位、最重要ポイントを識別できるなど）
地理	<ul style="list-style-type: none"> 地理的事象に関して思考・発見した事象や推論の中からある視点から正しいものや重要なものを選択できる能力 地理的事象に対して多面的に考察したことをある視点から評価できる能力
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的事象に関して思考・発見した事象や推論の中から時代の特色や現代社会に与えた影響・意義を総合的に判断できる能力 歴史的事象に対して多面的に考察したことをある視点から公正に評価できる能力
公民	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的事象に関して思考・発見した事象や課題に対し、公正な立場で解決策を推論・選択できる能力 現代の社会的事象に対して多面的に考察したことや提示されていることを、ある視点から公正に評価できる能力

○表現力

3分野 共通	<ul style="list-style-type: none"> 多面的、多角的に考察したことを文章や適切な図表等（表、関連図、流れ図、集合図、階層図など）を用いて他者に説明できる能力。
地理	<ul style="list-style-type: none"> 地理的事象に関して思考・判断したことを適切な文章や図表として表現できる能力 地理的な事象の相互関係等を適切な図表等にできる能力
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的事象に関して思考・判断したことを適切な文章や図表として表現できる能力 歴史的な事象の相互関係等を適切な図表等にできる能力
公民	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的事象に関して思考・判断したことを適切な文章や図表として表現できる能力 現代の社会的事象の相互関係等を適切な図表等にできる能力

サンプル問題：地理（令和3年度入学者選抜学力検査追試験問題 大問1）

問1から問3までの各問いに答えよ。

問1 次の表1は、択捉島、南鳥島、沖ノ鳥島、与那国島について、ある年の夏至の日における日の出時刻と日の入り時刻、および日の出から日の入りまでの時間をまとめたものである。表1中の①から④は、択捉島、南鳥島、沖ノ鳥島、与那国島のいずれかを示している。択捉島と与那国島の組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

表1

	日の出時刻	日の入り時刻	日の出から日の入りまでの時間
①	3時16分	18時58分	15時間42分
②	3時56分	17時35分	13時間39分
③	5時16分	18時39分	13時間23分
④	6時00分	19時40分	13時間40分

（国立天文台「暦計算室」を利用して求めた値）

- ア 択捉島－① 与那国島－②
 ウ 択捉島－② 与那国島－①
 オ 択捉島－③ 与那国島－④

- イ 択捉島－① 与那国島－④
 エ 択捉島－② 与那国島－③
 カ 択捉島－④ 与那国島－②

問2 次の表2は、南極を除く五つの大陸について、各大陸の面している大洋と、各大陸の気候帯別の面積の割合をまとめたものである。表2中のAからEは五つの大陸のいずれかを、X、Y、Zは三大洋のいずれかを示している。次ページの図を参考にして、XとYの組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

表2

大陸	各大陸が面している大洋	気候帯別の面積の割合（％）				
		熱帯	乾燥帯	温帯	冷帯 (亜寒帯)	寒帯
A	X, Y	38.6	46.7	14.7	—	—
B	X, Z	16.9	57.2	25.9	—	—
C	Y, Z	5.2	14.4	13.5	43.4	23.5
D	Y, Z	63.4	14.0	21.0	—	1.6
E	X, Y, Z	7.4	26.1	17.5	39.2	9.8

※表中の—は、該当数値なしを表している。（『データブック オブ・ザ・ワールド 2020年版』より作成）

- ア X－太平洋 Y－大西洋 イ X－太平洋 Y－インド洋
 ウ X－大西洋 Y－太平洋 エ X－大西洋 Y－インド洋
 オ X－インド洋 Y－太平洋 カ X－インド洋 Y－大西洋

問3 次の表3は、陸地と海洋の面積を10度ごとの緯度帯別にまとめたものである。なお、表3中のaからdは、北半球の陸地、北半球の海洋、南半球の陸地、南半球の海洋のいずれかを示している。後の図を参考にして、aとbの組み合わせとして正しいものを、下のアからクのうちから一つ選べ。

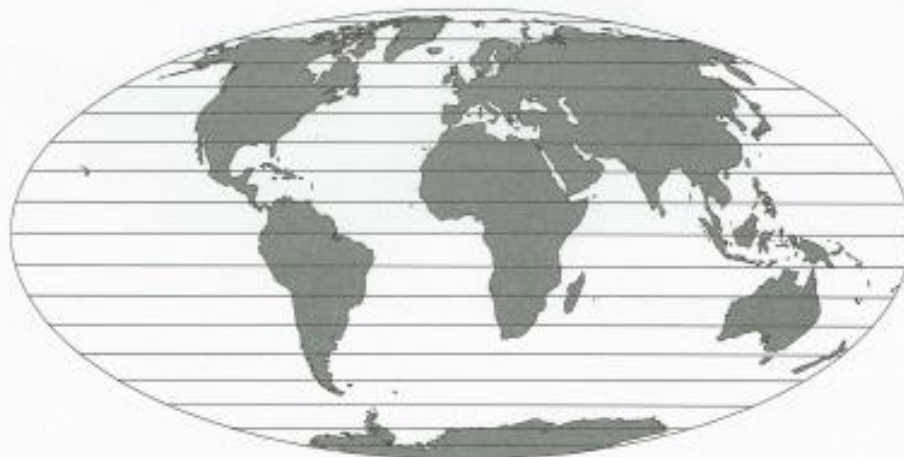
表3

緯度帯 (単位:度)	面積(万km ²)			
	a	b	c	d
0～10	1003.9	1039.9	3369.5	3405.5
10～20	1124.9	943.3	3335.5	3153.8
20～30	1511.3	931.4	3089.3	2509.3
30～40	1562.2	414.6	3226.6	2079.0
40～50	1645.7	99.1	3051.2	1504.6
50～60	1463.6	21.6	2539.6	1097.7
60～70	1335.2	160.1	1730.9	555.8
70～80	349.4	729.5	430.2	810.3
80～90	40.7	347.7	43.1	350.2

(『理科年表 2020年版』より作成)

- | | | | |
|--------------|------------|--------------|------------|
| ア a - 北半球の陸地 | b - 北半球の海洋 | イ a - 北半球の海洋 | b - 北半球の陸地 |
| ウ a - 南半球の陸地 | b - 南半球の海洋 | エ a - 南半球の海洋 | b - 南半球の陸地 |
| オ a - 北半球の陸地 | b - 南半球の陸地 | カ a - 南半球の陸地 | b - 北半球の陸地 |
| キ a - 北半球の海洋 | b - 南半球の海洋 | ク a - 南半球の海洋 | b - 北半球の海洋 |

図



※この地図は、面積が正しく描かれた地図であり、地図中の緯線はすべて10度間隔で描かれている。

正解

問 1	イ
問 2	カ
問 3	オ

思考力・判断力・表現力との関連性

問 1 それぞれの島の地理的位置の知識を前提に、夏至や冬至の日は、単純に経度だけで日の出・日の入りが決まるわけではないことを思考する問題である。

(地理：思考力)「図表(地図を含む)で地理的な場所、分布、環境等の特色、つながり、相互関係等を読み取る能力」に相当

問 2 南極を除く 5 大陸が何であり、それぞれの大陸の気候帯の特徴に関する知識を前提とした上で、これら的大陸に接する 3 つの大洋の組み合わせを正しく判断する問題である。

(地理：判断力)「地理的事象に関して思考・発見した事象や推論の中からある視点から正しいものや重要なものを選択できる能力」に相当

問 3 表の 10° 刻みのデータと、地図データの緯線の間隔との関係について相互に関係づけて思考できること、緯度と大陸面積の関係を正しく判断することを要する問題である。

(地理：判断力)「地理的事象に対して多面的に考察したことをある視点から評価できる能力」に相当

サンプル問題：歴史（令和2年度入学者選抜学力検査問題 大問6）

次のAからDの自伝の各文章は、それぞれの時代の女性が「この年」の前後の経験について語った想定のある文章である。問1から問4までの各問いに答えよ。なお、AからDの文中の「この年」は年代順に並べてある。

自伝

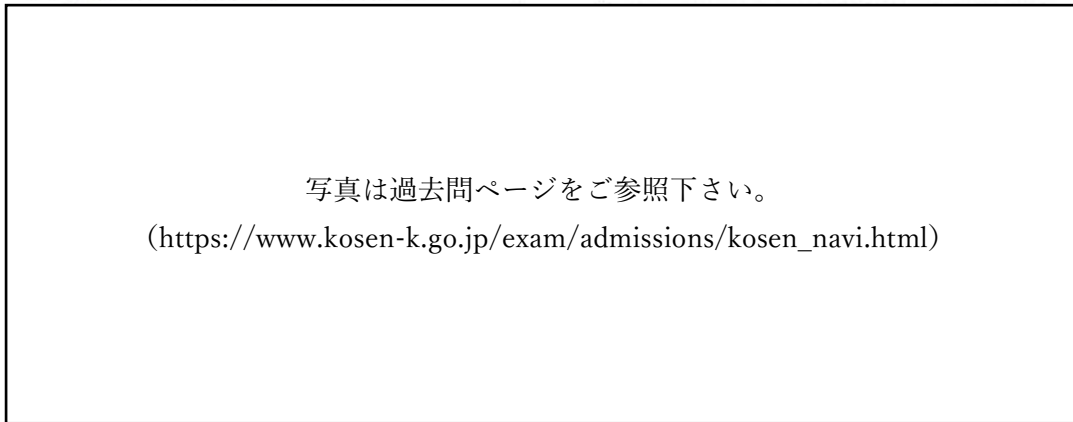
- A 私は地方の中級武士の家の次女に生まれました。政府が近在に洋式製糸場を建てるとい
うので、知人の薦めで女工に志願しました。私たちは和服の上に袴をはき、プリユナ殿
がフランスから招いた女性たちから指導を受けました。フランスの方々は今年末で契約
終了となり、この年フランスにお帰りになりました。翌年には西日本で大きな内乱があ
りました。
- B 私は横浜のキリスト教系の女学校へ通いました。新たに赴任された校長の下で、前年の震
災で倒壊した校舎の建て替えが始まり、水兵さんの軍服を真似た制服もこの年に採用され
ました。この頃はまだ女学校へ進学する女性はわずかでしたが、世間では電話交換士やバ
スガールなどになって働く女性もあらわれました。
- C 当時私が通っていた高等女学校では、厚生省の奨励で多くの女生徒がもんぺとよばれる作
業着を着させられました。戦争が激しくなると、私は勤労働員で近くの軍需工場へ働きに
行かされました。この年、兄は学徒出陣で戦場へ行き、国民学校に通っていた弟は長野県
へ集団疎開しました。戦争は翌年に終わりました。
- D この年、地方の高校を卒業後直ちに、集団就職で京浜地区の電機会社に就職して、トラン
ジスタラジオ工場で働き始めました。しかし、前年のオリンピックが終わった反動の不景
気で会社は私が就職したその年の年末には倒産してしまいました。私は赤坂の洋食屋で新
たに雇っていただけることになりました。この二年後にはイギリス出身の有名なモデルさ
んが来日し、ミニスカートが大流行しました。

問1 次の文章は、自伝のいずれか一つの続きである。この文章が続くと思われる元の自伝を、下の
アからエのうちから一つ選べ。

前年まで発行されていた『白樺』には志賀直哉らが投稿していました。また、芥川龍之介
が前年から別の文芸雑誌に「侏儒の言葉」を連載し始めました。そしてなにより私たちを夢
中にさせたのが竹久夢二の作品で、ある雑誌の表紙に使われたこの年の木版画の「秋のしらべ」
もたいへんな人気になりました。また、翌年には東京からのラジオの本放送が始まりました。

ア A イ B ウ C エ D

問2 次の画像①と②が示す出来事を自伝の年代に対応させたとき、それぞれに当てはまる時期を、下のアからエのうちから一つずつ選べ。



(夢の超特急第一列車の発車式(撮影地:東京駅) (安達吟光「新皇居於テ正殿憲法発布式之図」の一部分)

ア Aより前 イ AとBの間 ウ BとCの間 エ CとDの間

問3 次の表は自伝のAの年とBの年の日本の貿易額に生糸、綿花、綿糸が占める割合を示したものである。表のXからZに当てはまる品目の組み合わせとして正しいと思われるものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

表

品目	Aの年の輸入額に占める割合	Aの年の輸出額に占める割合	Bの年の輸入額に占める割合	Bの年の輸出額に占める割合
X	1.90%	0%	24.67%	0%
Y	17.37%	0%	0.18%	6.12%
Z	0%	47.63%	0.11%	37.81%

(「日本貿易精覧」東洋経済新報社より作成)

品目	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
X	綿花	綿花	綿糸	綿糸	生糸	生糸
Y	綿糸	生糸	綿花	生糸	綿花	綿糸
Z	生糸	綿糸	生糸	綿花	綿糸	綿花

問4 自伝のCとDの間の時期に起きた出来事を、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 中華人民共和国が成立した。 イ 日中平和友好条約が締結された。
ウ アヘン戦争が起きた。 エ 辛亥革命が起きた。

正解

問 1		イ
問 2	①	エ
	②	イ
問 3		ア
問 4		ア

思考力・判断力・表現力との関連性

問 1 時代の流れが、当時の生活や社会情勢、西洋からの技術の移転、高度成長など様々な観点で交錯しており、暗に富岡製糸場建設、西南戦争があったこと、関東大震災が起こったことや、庶民がその影響を受けていることが述べられているなど、人々の生活や行動につながる事象の相互の関係を見出して思考する問題である。

(歴史：思考力)「歴史に関わる事象(時期・年代、推移、比較、相互関係など)の背景、意義、影響、現代へのつながり等を考察する能力」に相当

問 2 ①は新幹線開業、②大日本帝国憲法の発布であると、それぞれの図の下部説明で明示されている。A～Dは時代の変遷通り並んでいると示しているので、①がオリンピックに間に合わせる必要があったという社会的背景(オリンピックが社会に与えた影響)から、Dの前であること、②はBが関東大震災の影響を受けていることを暗に記述していることから、Bの前であることなど、何らかの歴史的事象が与える影響について、その関係性を判断させる問題である。

(歴史：判断力)「歴史的事象に関して思考・発見した事象や推論の中から時代の特色や現代社会に与えた影響・意義を総合できる能力」に相当

問3 明治初期と大正時代の我が国の主要な輸出・輸入品目が、その後の時代推移でどのようにシフトして行ったか、富岡製紙場の建設の時代と社会的背景、綿織物を輸出するための、綿花・綿糸の輸出入など、多くの事象が相互に関連・推移していく状況を判断し、正しく選択できる必要がある問題である。

(歴史：判断力)「歴史的事象に関して思考・発見した事象や推論の中から時代の特色や現代社会に与えた影響・意義を総合できる能力」に相当

問4 太平洋戦争(終戦という文言があること)と東京オリンピックの時代の間であるということは明確である。選択肢ア～エは、中国と日本が現代にまでつながる関係をどう構築して行ったかのトピックスであるが、各出来事の年代に関する知識を問う問題である。

サンプル問題：公民（令和3年度入学者選抜学力検査問題 大問8）

次の写真1から3を見て、問1から問4までの各問いに答えよ。

写真は過去問ページをご参照下さい。
 (https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/kosen_navi.html)

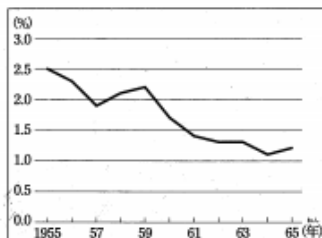
(ナショナルジオグラフィック HP より作成)	(日本民間放送連盟 【民間放送十年史】より作成)	(共同通信 HP より作成)
占領政策を進めるために、 連合国軍総司令部（GHQ） の元帥が日本に到着した。	当時「世界一の自立鉄塔」 と呼ばれた、展望台付き 電波塔が完成した。	戦後の田中内閣のころ、物 価が高騰し、対策を求めて 主婦たちがデモ行進した。

問1 写真1に関する次の説明文中の空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下のアからエのうちから一つ選べ。

説明文
 この人物を最高司令官とする GHQ の指示により、日本は国民主権、、平和主義を三つの大きな原則として掲げた新たな憲法を制定した。この憲法のもと、国会は衆議院と で構成され、民主的な政治がすすめられることとなった。

- | | |
|-------------------|---------|
| ア A - 基本的人権の尊重 | B - 参議院 |
| イ A - 基本的人権の尊重 | B - 貴族院 |
| ウ A - 天皇の名における司法権 | B - 参議院 |
| エ A - 天皇の名における司法権 | B - 貴族院 |

問2 写真2に関して、この電波塔が完成したところを含む1955年から65年は、「高度経済成長」と呼ばれる、経済が急速に発展した時期のうちに入る。この間に関する、左下のグラフが示している事柄として正しいものを、右下のアからエのうちから一つ選べ。



- ア テレビ放送を楽しむために人々が購入した、白黒テレビの普及の割合。
- イ 「もはや戦後ではない」と経済白書で表現された、経済成長率。
- ウ 所得倍増政策など好調な経済を背景とした、完全失業率。
- エ 東京オリンピックに向けた、全就業者に対する第二次産業の就業者の割合。

問3 写真3の時期に起こった、世界的な不況に関する記述として適当でないものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 中東地域での戦争の影響により、石油の価格が大幅に上がったため、日本など先進国は経済的に大きな影響を受けた。
- イ 原材料を輸入に頼っている日本では、紙製品や洗剤といった生活必需品ひつてひんが不足するといわれ、売りおしみや買いだめが起こった。
- ウ 日本の企業は省エネルギー・省資源の経営に努め不況を乗り切ろうとしたと同時に、この時期の数年前に日本ではじめて制定された公害対策の法律への対応が求められた。
- エ 急速な景気悪化への対策のために財政赤字が増大した日本の政府は、税収を増やすため新たに3%の消費税を導入した。

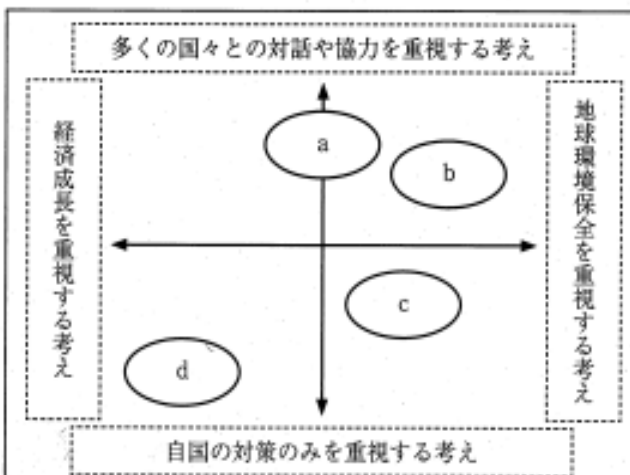
問4 写真3のころから、地球環境保全と経済成長の関わりについての課題が世界的に意識されるようになり、その解決にいたる努力がなされている。次のXからZは、その課題解決に向けた考えをまとめたものである。それぞれの考えを、左下の図中のaからdのいずれかに当てはめたときの組み合わせとして最も適当なものを、右下のアからクのうちから一つ選べ。

X
まずは発展途上国の各国ごとに経済成長をめざし、適切な地球環境保全を行うことができるまで経済力をつけるべきである。

Y
経済成長をしている国々が発展途上国に技術や資金を提供して、各国の状況に合わせて地球環境保全に優先的に取り組むべきである。

Z
多数の国が公正な話し合いを行い、合意を得たうえで地球環境保全と経済成長を両立させる方法を検討すべきである。

図



	X	Y	Z
ア	a	b	c
イ	a	c	d
ウ	b	c	d
エ	b	d	a
オ	c	a	b
カ	c	d	b
キ	d	a	c
ク	d	b	a

正解

問 1	ア
問 2	ウ
問 3	エ
問 4	ク

思考力・判断力・表現力との関連性

問 1 日本国憲法の基本的原則についての知識を確認する問題である。

問 2 高度経済成長期で起こる社会的な事象を論理的に思考する問題である。

(公民：思考力)「現代の社会的事象の仕組み、役割、事象相互の結びつき、課題等を様々な側面から捉えることができる能力」に相当。

問 3 世界的な不況が起こったことが当時の日本に与えた影響や、対策について正しく選択できるかを問う問題である。

(公民：思考力)「現代の社会的事象の仕組み、役割、事象相互の結びつき、課題等を様々な側面から捉えることができる能力」に相当。

問 4 地球環境の保全と経済成長の関係について、様々な立場を的確に図表化し、異なる立場にも配慮して多面的に事象を捉えていくためのシンキングツールに整理する問題である。

(公民：表現力)「現代の社会的事象の相互関係等を適切な図表等にできる能力」に相当。